



T-Bizは大学発ベンチャーや大学と連携する企業の皆様をサポートする
中小機構が運営するインキュベーション(起業家育成)施設です

4月にT-BizのCIMに就任いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。現在、AI(人工知能)の分野はかつてないほどの活況を呈しており、技術の進歩とともに多くの産業や日常生活に深く浸透し、その影響力を拡大しています。AIに欠かせない半導体を提供するNVIDIAは、時価総額で世界一となりました。スタートアップであったNVIDIAが成功した理由は多岐にわたりますが、常に技術革新を追求し、特にGPUの開発で先駆者となり、ゲーム用GPU市場に早期参入し、科学計算やデータセンター、AI、機械学習、自動運転車などに応用したことが挙げられます。技術革新と先見性、戦略的市場参入が成功に結びついたのでと考えられます。目標を大きく持ち、少しでもこの事例に近づけるよう支援を行ってまいります。

東北大学連携ビジネスインキュベータ 【T-Biz】 チーフインキュベーションマネージャー(CIM) 松村 伸一

T-Bizセミナー開催報告……補助金・助成金等支援事業ご紹介

昨年の宮城県による半導体関連産業の誘致活動、そして今年4月の3GeV高輝度放射光施設(ナノテラス)の運用開始に合わせるように、新年度の行政機関からの新技術・新産業の創出に向けた支援は一層活発になっています。

宮城県・仙台市による各種支援事業の募集開始に合わせ、4/24にT-Bizセミナー『研究開発/販路開拓等の支援事業紹介セミナー』を今年も開催しました。T-Biz会議室には、宮城県、仙台市、みやぎ産業振興機構、宮城県産業技術総合センターの皆様にお越しいただき、スタートアップ企業の今後の事業発展に必要な支援事業を紹介いただきました。オンラインを含めて参加いただいた企業・大学関係者様より多くの質問をいただき、今年も非常に有意義な時間となりました。セミナー終了後の名刺交換会は今後の個別支援に向けての重要な顔合わせの場となり、早速、支援機関との個別相談会に臨んでいただいた企業もありました。支援事業でご不明な点やご質問がございましたらIM室までお声がけください。



セミナー会場風景



挨拶する松村CIM

なお、T-Bizでは今年度もタイムリーな情報提供や、入居企業の皆様のニーズに沿ったセミナーを各種開催してまいります。今後もメールマガジンやホームページ「お知らせ一覧」・T-Biz館内掲示物でご案内してまいりますのでよろしくお願いいたします。

<https://www.smrj.go.jp/incubation/t-biz/report/index.html#20240430>

主要メディア掲載

■ 2024年 3月17日付 産経新聞 シグマイイ 
『巨大IT 迫る大学発量子スタートアップ 量子コンピューター実用化など世界でしのぎ』 <https://www.sigmailab.com/news>
<https://www.sankei.com/article/20240317-UQOKBTJJFKFTJRLKCOJZYR6MA/>

2024年 4月15日 ダイヤモンドオンライン シグマイイ
『量子コンピューターってなんだろう 唯一最善解のない複雑な社会問題を解決するツール』 <https://diamond.jp/articles/-/340941>

■ 2024年 3月22日付 毎日新聞 レボルカ 
『生成AIでたんぱく質設計 開発競争が本格化「大戦国時代」』 <https://mainichi.jp/articles/20240321/ddm/016/040/019000c>

■ 2024年 4月21日 サウンドウェーブイノベーション 
TBS系TV『健康カプセル! ゲンキの時間』で、認知症治療機器LIPUS-Brainが紹介されました。
<https://hicbc.com/magazine/article/?id=genki-column-240421>

■ 2024年 4月10日付 日本経済新聞・他 三幸 
『半導体関連の三幸など3社、宮城県名取市に工場建設へ』 <https://www.nikkei.com/article/DGXZQOCC089J70Y4A400C200000/>
<https://www.kk-sanko.co.jp/news>

■ 2024年 4月11日付 ニュースイッチ・他 東北マイクロテック 
『スパコン「富岳」も搭載…人間の脳のような超並列処理に適した構造「3D-IC」とは?』 <https://newsswitch.jp/p/41206>
<https://www.nikkan.co.jp/articles/view/708099>

■ 2024年 5月24日 NHK国際ニュース・おはよう日本 ALISys 
『ウクライナ復興へ 日本企業が首都キーウ訪問 地雷対策など議論』 佐藤社長が現地を訪問し意見交換。
<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20240524/k10014458871000.html>

ウクライナ緊急事態庁のフェイスブックにも掲載されています。詳しくは右のURLで。 <https://alisy.co.jp/category/topics-jp/>

T-Biz入居企業ご紹介

ファイトケミカルプロダクツ株式会社 Phytochemical Products Inc.



代表取締役・技術士(化学部門)
加藤 牧子 氏

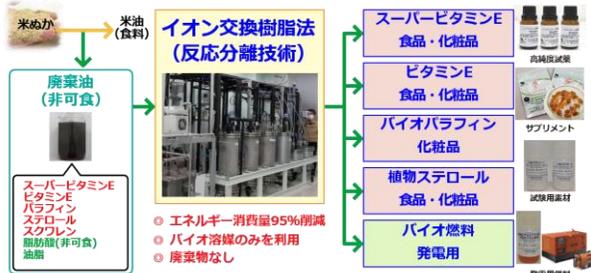
未利用資源のアップサイクルから 資源循環型社会の実現を目指しています。

東北大学発『イオン交換樹脂法』とは？

Phytoはギリシャ語で植物のこと。ファイトケミカルとは、植物が身を守るために作り出す成分を指し、私たちの健康維持に重要な成分であることが明らかになっています。

イオン交換樹脂は、従来から水処理の分離剤として利用されてきました。東北大学工学研究科北川教授が2004年に油の中で高い触媒活性を持つことを世界で初めて発見し、その後、油に含まれる健康機能成分を分離する能力も発見しました。この反応分離技術が『イオン交換樹脂法』です。本技術の特徴は3つあり、①従来の製造法と比べ消費エネルギーを95%削減できCO₂排出削減ができる、②収率は従来法の2倍以上に高効率な製造が可能である、③溶媒は植物由来の発酵エタノールを使用することができ安全性が高いことで、安全・安心・安価の3つを同時に実現しています。

当社が注目するのは、既存産業で発生する未利用資源です。その中でも、特に食用油製造工程で副産する未利用油に注目しており、資源を捨てるところなく使い尽くす、中に含まれるすべての成分を製品化するマルチ生産プロセスを創り出しました。



当社では、このイオン交換樹脂法により米ぬかの未利用油から、食品、化粧品向けの機能性原料、研究開発向け機能性試験用試薬、バイオ燃料を製造・販売しています。製品のひとつが、スーパービタミンEサプリメント『おコメのきもち』です。美容・健康につながるこのサプリメントは、クラウドファンディングで資金を集めて開発しました。定期購入を頂いているファンが数多くいます。

今後の目標と展望は？

当社は、今後も技術開発を進め量産技術を確立し、イオン交換樹脂法の技術の普及を目指していきます。2023年7月に、横河ソリューションサービス株式会社と共同開発契約を締結しました。両社の協業により技術開発が促進することが期待できます。そして、環境適合性と経済性を両立させた技術の社会実装・普及を進めていき、地域の経済循環を生み出し、循環型社会を実現することを目指していきます。



具体的には、量産技術の確立のために2025年に開発工場への展開を目指しています。その後、様々な未利用油の成分組成や目的に応じた技術提供を行うエンジニアリング・ライセンス事業に展開していきます。現在は、イオン交換樹脂法を活用した受託試験や樹脂塔設計、パイロット試験機的设计を受注しており、商用設備の導入に向けた取り組みを進めています。

T-Biz入居のメリットは？

- 3つの視点からメリットがあると考えます。
- ①大学研究室と近いので共同研究がしやすい
 - ②宮城県・仙台市の各種支援、助成制度が活用できる
 - ③中小機構のサポートを受けられる

①は、東北大学の青葉山キャンパス内に立地しており、当社が連携している工学研究科の北川研究室にも徒歩2分以内で密に連携ができます。②③は、行政機関との連携ができることです。家賃補助や補助事業などの費用助成や、年2回の面談で当社の課題に寄り添った支援を受けられます。

《企業プロフィール》



サプリメント『おコメのきもち』

東北大学発のイオン交換樹脂法を活用し、未利用バイオマス資源のアップサイクルから資源循環型社会の実現と人々の健康で豊かな暮らしに貢献することを目的に2018年6月に設立。T-Biz内にプロトタイプを完成させ、米ぬか由来の機能成分やバイオ燃料などを製造販売している。2020年11月には、環境適合性と成長性・将来性を高く評価されJ-Startup TOHOKU企業に選定された。経済産業省など主催の「ものづくり日本大賞」優秀賞、「市村地球環境学術賞」貢献賞など受賞多数。

ファイトケミカルプロダクツ株式会社

〒980-8579 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-40
東北大学連携ビジネスインキュベータ 103号室

<https://phytochem-products.co.jp/>



TBA 『ジャパンテック・アフリカチャレンジ』(JETRO)に採択されました

■遺伝子検査の新しいカタチを提案するTBAは、JETROが昨年11月に立ち上げた『ジャパンテック・アフリカチャレンジ』に採択されました。アフリカの社会課題の解決に資する技術・製品・サービスを有する日系スタートアップを発掘し、アフリカ市場開拓を支援することを目的としたこの事業に採択されたのは全国のスタートアップ企業5社で、TBAは、「汎用性に優れた遺伝子検査技術を有し、結核や Dengue 熱、マラリアなど脆弱なアフリカの感染症対策の強靱化に貢献できる点」が評価されました。今後、TBAはJETRO及びアフリカの有力アクセラレーターによる個別支援を受け、TBAの独自技術を用いた新しい遺伝子検査キットによりアフリカの抱える社会課題解決を目指してゆきます。



展示会場で独自技術を紹介する清水GM



商談する川瀬社長(左)と清水GM(右)

その手始めとして、5/29～31にマラケシュ(モロッコ)で開催されたアフリカ最大級テック・スタートアップイベント『GITEX AFRICA 2024』にJETROが初めて設置したジャパン・エリアから出展、高価な装置なしで検査が可能であり、コンタミリスクを低減した新しい遺伝子検査キット『iso-PASワーキングカセット』を展示紹介しました。医療設備や検査設備が十分ではない中でも Dengue 熱・感染症診断や食品検査に活用が期待できるとして、現地の関係者から大きな反響がありました。

『世界の子供たちに健やかな未来を』 その未来の実現に向けて歩むTBA、これからも注目してください。



<https://www.t-bioarray.com/>

<https://www.jetro.go.jp/news/releases/2024/0d1fa700ec4c0d8a.html>

展示会出展・学会講演報告

■エーアイシルクは、5/22～25にパリで開催された世界最大級のテックイベント『VIVA TECHNOLOGY 2024』にJETROが設置したJapanパビリオンより出展、ウェアラブルデバイス等の電極として使用する「LEAD SKIN® AIR」とその応用製品を紹介しました。スポーツやフィットネス用途の製品搭載に最適な滑らかで肌触りの良い導電性繊維は現地でも注目され多くの来場者が訪れました。



AI SILK® <https://www.ai-silk.com/>

<https://www.jetro.go.jp/news/announcement/2024/314939595ca27ca0.html>

■東北マイクロテックの元吉社長は、6/12～14にブダペスト(ハンガリー)で開催の国際学会『The 8th Annual World Congress of Smart Materials-2024』において独自技術である3次元(3D)積層型ICチップとAuマイクロバンブ技術について6/14に講演しました。



T-Micro
Advanced 3D-IC & MEMS Technology

<https://www.t-microtec.com/>

<https://www.bitcongress.com/wcsm2024/index.asp>

その他、下記の2社も国内開催の展示会で独自技術の製品を紹介しています。

Blue Practice 4/17～19『Medtec Japan 2024』東京ビッグサイト https://www.medtecjapanreg.com/exh2024/detail.pl?reg_num=J241705393283_1510
ボールウェーブ 6/4～7『FOOMA JAPAN 2024』東京ビッグサイト <https://www.foomajapan.jp/exhibitor/detail/38/>

ファイトケミカルプロダクツ 市村賞授賞式に参加

■『第56回 市村地球環境学術賞 貢献賞』を受賞したファイトケミカルプロダクツは、4/19に帝国ホテル東京で行われた表彰式に東北大学教授北川CTOと加藤CEOがそろって出席しました。開発テーマである「多様な廃棄油をバイオ液体燃料に変換可能な革新的製造プロセス」が、地球温暖化対策に関する技術分野において顕著な業績があったと評価されたものです。

https://www.sgkz.or.jp/prize/science_environment/56/document_03.html

<https://phytochem-products.co.jp/news/>



中小機構 東北本部 本部長交代のお知らせ

中小企業基盤整備機構東北本部は、2024年4月1日付人事異動により本部長が交代となりましたので下記のとおりご案内いたします。

【退任】(3月31日付) 宮本 幹(みやもと みき) 【就任】(4月1日付) 矢内 友則(やない ともり)

https://www.smrj.go.jp/regional_hq/tohoku/index.html

平素より大変お世話になっております。

4月に中小機構東北本部長に就任しました矢内友則と申します。どうぞよろしくお願いたします。

スタートアップ、特にディープテック・スタートアップを取り巻く東北地域の動向は、3GeV高輝度放射光施設ナノテラスの稼働開始、大衡村の半導体新工場建設、また、東北大学が「国際卓越研究大学」に認定される見通しとなるなど、環境が大きく変化してきております。私ども中小機構は、東北大学をはじめ、東北経済産業局、地方自治体と連携し、東北地域のスタートアップ機運を高めるとともに、T-Biz入居企業の皆様の事業化を応援させていただき、東北から世界に羽ばたく企業を輩出するお手伝いをさせていただければと考えております。中小機構では、スタートアップ支援のみならず、国内・海外向けに多くの支援メニューを揃えております。お困りごとなどがあれば、是非T-Biz IM室や中小機構東北本部へお気軽にご相談ください。中小機構職員一同、精一杯ご対応させていただきます。



東北本部 本部長
矢内 友則

T-Biz 入居企業情報

■ALISys 3月中旬にコロンビア軍の人的地雷除去部隊において先端地雷探査レーダシステム(ALIS)の訓練を行いました。

ALIS活用による紛争地における人道支援活動の功績をたたえられ東北大学より表彰されました。

<https://www.tohoku.ac.jp/japanese/2024/04/news20240402-alis.html>

■レボルカ 4/19、La Jolla Institute for Immunology社(米国)と次世代ワクチンの抗原創出に向けた共同研究を開始したことを発表しました。

5/28、第一三共株式会社と高機能タンパク質の創製に関する基本契約を締結したことを発表しました。

https://www.revolka.com/news/jp_news/collab/a60

■ストーリーライン Amazon販売にてデカフェコーヒーを中心としたデカフェ専門ショップ「デカフェ本舗」をリリースしました。

<https://www.atpress.ne.jp/news/389898>

■サウンドウェーブイノベーション Venture Valuation社(スイス)のインタビューシリーズでLIPUS-Brainの取り組みが紹介されました。

<https://sw-innovation.com/news/media/3044/>

■エーアイシルク 仙台スタートアップ・エコシステム推進協議会ホームページに、岡野CEOのインタビュー記事が掲載されました。

<https://sendai-startup-ecosystem.jp/interview/interview-1378/>

■シグマアイ 2/23開催、大関CEOが登壇した第15回 G1サミット第4部 分科会『まもなく到来！「量子コンピュータによる産業革命」とは』の動画をご覧ください。

<https://globis.jp/article/onnz1bbp4/>

■ファイトケミカルプロダクト イノベーションリーダーズサミットによる提携事例として横河ソリューションサービスとの協業が紹介されました。

<https://ils.tokyo/performance/case/case44.php>

5/18に東北大学を訪れた盛山文部科学大臣に加藤CEOが事業紹介をしました。

<https://phytochem-products.co.jp/news/>

https://www.mext.go.jp/b_menu/activity/detail/2024/20240518_2.html

■ナルックス 2025年大阪・関西万博における大阪ヘルスケアパビリオンへの出展が認定されました。T-Bizを拠点に開発中であるウィルス不活性化技術も紹介する予定です。

<https://www.nalux.co.jp/infomation/442/>

T-Biz 施設ご紹介

充実の設備と恵まれた環境をぜひ一度ご覧ください



研究開発や製品の試作・製造拠点、オフィスとしてご利用いただくタイプの居室

※ P2レベルまで可能(動物実験は不可だが、遺伝子組換え用微生物・魚類の評価飼育までは可能、要相談)



主にオフィスとしてご利用いただくタイプの居室



大人数の会議・セミナー等に使用できるプロジェクト・音響設備完備の共用会議室(1室・予約制)

T-Biz 入居者募集居室ご紹介 (2024年6月末現在)

居室面積や詳しい居室仕様などは下記ホームページをご覧ください、T-Bizにお問い合わせください。

ウェットラボ タイプ1	現在空室はございません。今後の見通しは直接T-Bizにお問い合わせください。	
ウェットラボ タイプ2	301号室(45.44㎡)	303号室(22.28㎡)
オフィス	402号室(22.28㎡)	403号室(22.28㎡)

T-Biz アクセスとお問い合わせ先



JR仙台駅からお越しの際は
地下鉄東西線「仙台」駅から
「八木山動物公園」駅行きに乗車(約9分)。
「青葉山」駅下車、南1出口から徒歩約2分。
タクシーをご利用の場合(約15分)は
「東北大学未来科学技術共同研究センター」
と指示してください。その東隣です。



T-Biz 東北大学連携ビジネスインキュベータ

☎022-726-5866

〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-40

<https://www.smrj.go.jp/incubation/t-biz/>



●中小機構は、新たな一歩を踏み出そうとしている経営者をハードとソフトの両面からサポートします。

https://www.smrj.go.jp/regional_hq/tohoku/index.html

<p>インキュベーション</p> <p>常駐する専門家が早期事業化を一貫してサポート</p>	<p>起業相談支援情報</p> <p>AIを活用した経営相談 J-Net21による起業・創業に役立つ情報サポート</p>	<p>アクセラレーション</p> <p>資金調達や事業提携に向けた伴走型のアクセラレーター支援</p>	<p>ハンズオン支援～専門家派遣～</p> <p>個別の経営課題に応じて豊富な経験と実績を持つ専門家チームを派遣</p>	<p>ビジネスマッチング</p> <p>展示会・商談会や「J-GoodTech」サイトで販路開拓をサポート</p>	<p>創業支援拠点</p> <p>TIP*S・BusiNest 交流や学びの場を提供 実践の第一歩をサポート</p>	<p>Be a Great Small. 中小機構</p> <p>中小企業基盤整備機構 東北本部</p>
-------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------